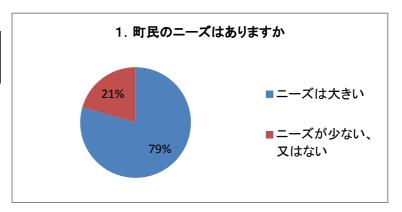
平成25年度補助金事業項目別評価結果

《妥当性》

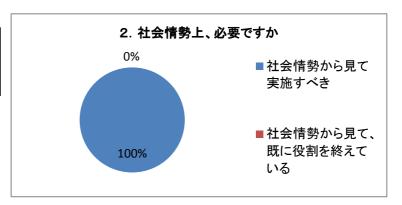
1. 町民のニーズはありますか

ニーズは大きい	31	79%
ニーズが少ない、又はない	8	21%
合 計	39	



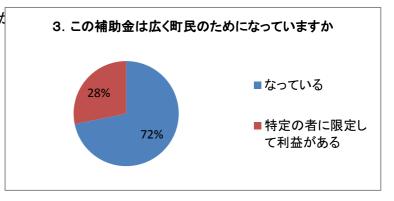
2. 社会情勢上、必要ですか

社会情勢から見て実施すべき	39	100%
社会情勢から見て、既に役割を 終えている	0	0%
合 計	39	



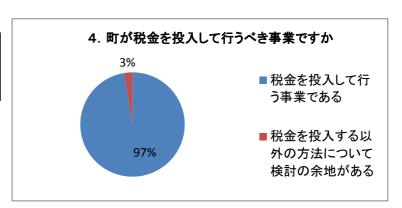
3. この補助金は広く町民のためになっていますが

	<u> </u>	<u>. ບໍດ </u>
なっている	28	72%
特定の者に限定して利益がある	11	28%
合 計	39	



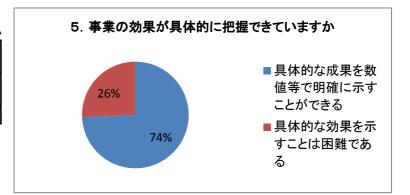
4. 町が税金を投入して行うべき事業ですか

	· / C /	,,
税金を投入して行う事業である	38	97%
税金を投入する以外の方法について検討の余地がある	1	3%
合 計	39	



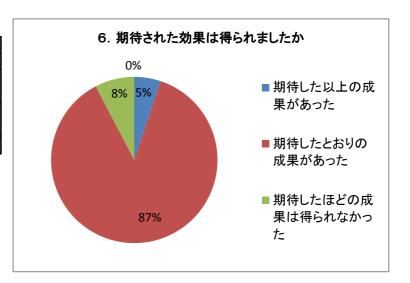
《有効性》

5. 事業の効果が具体的に把握できていますか具体的な成果を数値等で明確に
示すことができる2974%具体的な効果を示すことは困難
である1026%合計39



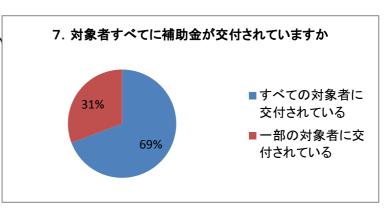
6 期待された効果は得られましたか

<u>し、別国でものに別不は同じものに</u>	_/J '	
期待した以上の成果があった	2	5%
期待したとおりの成果があった	34	87%
期待したほどの成果は得られなかった	3	8%
成果が少なく今後も向上する見 込みがない	0	0%
合 計	39	



《公平性》

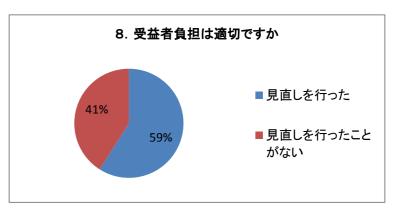
7. 対象者すべてに補助金が交付されていますか すべての対象者に交付されている 27 69% 一部の対象者に交付されている 12 31% 合計 39



《その他》

8. これまでに見直しの実績はありますか

。 これののでに対応して大阪のの	0 / 13	
見直しを行った	23	59%
見直しを行ったことがない	16	41%
合 計	39	



《所属長の所見(今後の方向性)》

現状維持	31	79%
見直しの上で継続する	8	21%
終期設定	0	0%
廃止	0	0%
休止	0	0%
合 計	39	

